



▲講師を務めた田瀬さん

エスディージーズ
幸せのまちづくりフォーラム&第2回ふくつSDGs賞表彰式を開催

SDGsを学び、持続可能で優れた活動を表彰

市では、SDGsの理念を分かりやすく伝えるとともに優れた取り組みを行っている個人、企業・団体に対し、表彰を行っています。3月10日に「幸せのまちづくりフォーラム&第2回ふくつSDGs賞表彰式」を開催しました。幸せのまちづくりフォーラムでは、SDGパートナーズ有限会社の田瀬和夫さんが、SDGsの持つ大きな意味や新型コロナウイルス感染症の収束後、SDGsをどのように進めていくか、講演を行いました。また、多くの人がSDGsを難しく考えてしまう理由などについても、田瀬さんが持つ広い知見と経験から解説されました。

第2回ふくつSDGs賞表彰式では、応募総数11件のうち4件がSDGs推進本部長賞、2件が特別賞を受賞。SDGs推進本部長賞は「くらげれんごう」「福間中学校」「上西郷小学校」「福間南小学校」の4件、特別賞は「チーム53」「福間小学校」の2件で原崎市長から表彰状が授与されました。



▲第2回ふくつSDGs賞表彰式で受賞した6団体の代表の皆さん。各団体の取り組みは市公式ホームページで紹介しています

津屋崎中学校美術部が古墳群の看板を作成

かわいい看板を見に来てほしい

津屋崎中学校美術部の生徒の皆さんが、新原・奴山古墳群展望所に設置する古墳キャラクター「ふんちゃん」の看板を作成しました。生徒の皆さんは「ペンキを混ぜ合わせて色を作る作業が難しかったけれど、楽しかった」と話してくれました。



▲看板に菜の花の絵付けをする美術部員の皆さん

担い手不足解消の足掛かりに

市消防団に最新の消防車を配備



▲従来と変わらない放水性能を持つ普通免許対応の消防車

地域の安心・安全のために活動する消防団。2017年3月の道路交通法の改正で、普通免許では3.5t以上の車両を運転できなくなりました。市は若年層の団員加入を促進するため、普通免許に対応した3.5t未満の消防車両を初めて導入しました。



▲身振り手振りを加えながら説明する置鮎さん

高齢者を対象に「コロナ時代のスマホ活用術」講座を開催

コロナ禍で活用できるスマホの機能を学ぶ

初心者向けのスマートフォン講座として「コロナ時代のスマホ活用術」を3月2日から3月16日まで、5回に分けて、イオンモール福津で開催しました。受講者の皆さんは、機種の違いや画面の見方、用語の説明などの基本の他「アプリのインストール」や「LINE電話の方法」などを学んでいました。

講師を務めた置鮎正則さんは、カタカナ用語を分かりやすい日本語に言い換えながら、詳しく説明し「スマートフォンを皆さんのパートナーにしてほしい」と語っていました。



発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集しています。掲載を希望する人はプリントした写真を子育て支援センターなかよしに持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限りません。データの持ち込みは受け付けられません。毎月先着24人で、7月生まれの赤ちゃんは5月14日(金)が受付期限です。

受付、問い合わせ

市子育て支援センターなかよし
(ふくとぴあ) ☎35・8382
休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日

▶写真申込フォーム

5月1日(土)から受付開始





教育長がバトンタッチ

想いをつなぐ「福津の教育」

柴田幸尚教育長が、3月31日付けで退任しました。4年間お疲れさまでした。

また、大嶋正紹教育長が4月1日付けで就任しました。



本年3月29日に市議会の承認をいただき、4月1日付けで教育長に就任いたしました大嶋でございます。4年間にわたり、本市教育行政を牽引してこられた柴田幸尚前教育長の後を受けての重責でございます。あらためて責任と使命の重さを感じております。市議会の皆様をはじめ、多くのかたがたのご指導ご協力、ご支援をいただきながら微力ではありますが、誠心誠意努めさせていただきます。どうぞよろしく願います。

本市が担う教育の役割は多岐にわたり、教育課題も山積しております。教育内容の充実はもちろん、学力向上、いじめ・不登校などの生徒指導上の課題解決や特別支援教育の充実、さらにはICTを活用した教育の推進など、学校

新教育長 就任の挨拶



に求められる役割が拡大し、多様化・複雑化しています。また、教員の力量の向上はもちろん、子どもたちと向き合える時間の確保のための学校業務の改善、過大規模校化や児童・生徒数の増加への対応などさまざまです。

本市では、多くの教育課題の解決に向け「志をもち、未来をたくましく切り拓く子ども」の育成を目指し、「福津市学校教育ドリムプラン」を策定し、学校・家庭・地域が連携・共働した教育実践と教育環境の整備を推進しているところです。今後も市民の皆様と一体となった教育を進めていきたいと考えております。ご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。教育長就任のご挨拶とさせていただきます。

令和3年4月1日

大嶋 正紹



この度、私事により任期途中ではございましたが、一身上の都合で3月31日をもって退任して教育長職を辞職させていただきますことに致しました。この間、市民の皆様には、教育行政の在り方について貴重なご意見やご提言をいただき、誠にありがとうございました。多くのことを学ぶことができました。心から感謝申し上げます。4年間ではございましたが、幼児教育・学校教育はもちろん、社会教育、文化財の保存活用など本市教育行政全般について、担当職員と力を合わせ、微力ながらに努めさせていただきました。市民の皆様からも温かいお言葉や励ましのお言葉をいただき、本当に大変お世話になりました。重ねて感謝申し上げます。

前教育長 退任の挨拶



さて、教育行政は多岐にわたり、いつでも誰でもどこでも学べる生涯学習時代への対応と共に、特に本市においては、児童・生徒数の増加が著しい小中学校の過大規模対策が大きな課題であると思っています。去る1月26日、中央教育審議会答申としての「令和の日本型学校教育」では、「すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」としています。そのためにも子どもたちの教育環境整備としての新設校建設は、急務と考えています。今後も「未来に生きる子どもたちの幸せこそ、大人の重要な責任」だと思ひ、新設校建設と共に地域総がかりで子どもたちを育む福津市コミュニティ・スクールの益々の「新化」を願い、書中にてお礼申し上げます。ありがとうございます。

令和3年4月4日

柴田 幸尚